

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【公開番号】特開2004-294593(P2004-294593A)

【公開日】平成16年10月21日(2004.10.21)

【年通号数】公開・登録公報2004-041

【出願番号】特願2003-84339(P2003-84339)

【国際特許分類第7版】

G 0 9 B 9/00

A 6 1 H 1/02

【F I】

G 0 9 B 9/00 Z

A 6 1 H 1/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月13日(2005.6.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被訓練者に訓練課題を呈示する訓練課題呈示手段と、

被訓練者の前記訓練課題に対する正確さおよび/または応答の速さに関する第一の情報を取り込むことのできる被訓練者応答手段と、

被訓練者の脳活動に関する第二の情報を計測するための脳計測手段と、

前記被訓練者応答手段で得られた前記第一の情報および前記脳計測手段で得られた前記第二の情報をもとに訓練効果を判定する情報処理装置を有することを特徴とする訓練支援装置。

【請求項2】

前記情報処理装置は前記第一の情報および前記第二の情報における脳活動ピーク値の変化をもとに判定を行うことを特徴とする請求項1記載の訓練支援装置。

【請求項3】

被訓練者に訓練課題や訓練内容を呈示する訓練課題呈示手段と、訓練課題や訓練内容に応じた被訓練者の応答を取り込むことのできる被訓練者応答手段と、被訓練者の脳活動を計測するための脳計測手段と、前記訓練課題呈示手段の呈示を制御し、且つ前記被訓練者応答手段から得る応答結果と、前記脳計測手段から得る訓練実行過程の被訓練者の脳活動の計測結果を少なくとも反映して、次に行うべき訓練課題を決定する情報処理装置とを備えることを特徴とする訓練支援装置。

【請求項4】

前記脳計測手段は脳の複数部位の脳活動を計測可能であり、前記複数部位の中から訓練結果の評価および次に行うべき訓練課題の決定に用いる注目部位を選択する手段を有する請求項3記載の訓練支援装置。

【請求項5】

前記情報処理装置は前記訓練課題の呈示に先立ち、訓練過程での適切な注目部位を選択するための探索課題を呈示するように、前記訓練課題呈示手段を制御することを特徴とする請求項3もしくは4に記載の訓練支援装置。

【請求項6】

前記情報処理装置は被訓練者の訓練結果の評価基準が設定可能であり、設定された評価基準に応じて前記被訓練者の訓練結果を評価する請求項3ないし5のいずれかに記載の訓練支援装置。